



※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。



保健福祉フェスタを開催

10月21日、市文化会館で「第36回鹿屋市保健福祉フェスタ」が開催されました。

当日は、保健・医療・福祉の各分野の功労者など45人の表彰や地元芸発表、小西博之さんによる講演会、三善英史さん歌謡ショーなどが行われました。また、屋外では健康・福祉・介護などの相談会やバザーなども行われ、多くの人でにぎわいました。



打馬町内会で「私の作品展」を開催

10月20日・21日、打馬公民館で「第13回私の作品展」が開催されました。

この作品展は、月1度同公民館で行われているサロンで出来上がった作品などを持ち寄り、年に1度お互いの作品を披露するもの。小学生から高齢者まで数多く出品された手作りの同作品展には、多くの来場者が訪れ、作品の出来栄に感動していました。



農畜産業の夢を語る

10月19日、リナシティかのやで「大隅農業の夢を語る交流会」が開催されました。交流会では、新規就農者の紹介などが行われ、下堀町でさつまいも栽培を営む山下大地さんが「今後は農業の機械化と農地の拡充に努めたい」と抱負を述べました。また、県農政部長の基調講演やパネルディスカッションも行われ、参加者は大隅農業の将来を語り合いました。



旧海軍航空隊串良基地出撃戦没者追悼式

10月13日、串良平和公園慰霊塔前広場で「旧海軍航空隊串良基地出撃戦没者追悼式」が開催され、全国各地から遺族や元隊員など約210人が参列しました。

式典では、国歌斉唱、追悼飛行のあと特別攻撃作戦などで戦死した573人の御霊に黙祷を捧げたほか、参列者の献花に続いて「同期の桜」を合唱し、参列者全員で戦没者の冥福を祈りました。



荒瀬ダムの安全を祈願

10月10日、九州農政局が建設を進める荒瀬ダムの定礎式が肝付町波見のダム建設現場で、嶋田市長ら約200人が出席し、執り行われました。

定礎式では、建設現場の堤体部分に礎石をそなえ、関係者が「鎮定の儀」や「埋納の儀」などを行い、工事の安全を祈願しました。荒瀬ダムは、鹿屋市・肝付町にまたがる1,537haに、総貯水量258万m³、受益者約4,000人で計画的な水利用による農業の生産性の向上と農業経営の安定を図ることを目的に建設されています。ダムは平成9年度、パイプラインは平成14年度に着工し、平成27年度の完成を目指しています。



全国和牛能力共進会で鹿児島県が第2位

10月25～29日、長崎県佐世保市で「第10回全国和牛能力共進会」が行われ、市から出品されたすべての牛が優等賞を獲得しました。

- 第1区＝上別府種畜場 優等賞11席
- 第3区＝末吉哲男 優等賞3席
- 第4区＝後堂恵 優等賞6席
- 第5区＝上ノ堀泉・青木春佑 優等賞3席
- 第7区＝川元博文・薬師五男 優等賞2席



輝北で伝統のバレーボール大会を開催

10月27日、輝北中学校や輝北体育館などで「第53回大隅地区中学女子新人バレーボール大会」が開催されました。

昭和35年から始まる伝統ある同大会に、今年は市内外から26チームが参加。選手たちは日頃の練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げました。優勝＝鹿屋東中学校 準優勝＝垂水中央中学校 3位＝吾平中学校、志布志中学校



「関西串良会」総会

10月21日、大阪市で「平成24年度関西串良会総会」が開催され、関西圏に在住の串良出身者など130人が参加しました。

串良がんばる会の活動や「串良人旅立ち式」など串良地域の行事紹介が行われたほか、校区別に小・中学校の校歌を歌ったり、特産品の抽選会やハンヤ踊りで会は盛り上がり、故郷を懐かしみながら楽しいひと時を過ごしました。



「MBC賞」を受賞

10月16日、「第45回MBC賞」を受賞した「NPO法人愛・あいネット」が市役所を表敬訪問しました。

同法人は、障害者の自立や就労支援につながる事業展開、手作り生ごみ処理機の製作などが評価され受賞しました。同代表の柳井谷昭平さんは「これを機に新たな気持ちで障害者支援に取り組みたい」と話してくれました。



昔の脱穀作業を体験!!

10月14日、池園町の広場で、脱穀出前授業が開催されました。

当日は、文化財センターから足踏脱穀機やとうみなどの昔の農機具を持ち込み体験。参加した西俣小学校の児童は、「昔の人は大変な苦勞をして農作業をやっていたことがよく分かりました。これからは、お米を作ってくれた人に感謝して、残さず食べたいです」などと感想を話してくれました。



こころの健康づくり講演会を開催

10月14日、リナシティかのやで「こころの健康づくり講演会in Kanoya」が開催されました。心療内科医で現在厚生労働省の「健康大使」を勤める海原純子氏が「女のストレス男のストレス」と題し講演。また、大隅地域振興局の下高原保健福祉環境部長の講演や心の健康相談などが行われました。訪れた380人の参加者は、心の健康について聞き入っていました。